

04

AI(人工知能)で品質確保・技術伝承



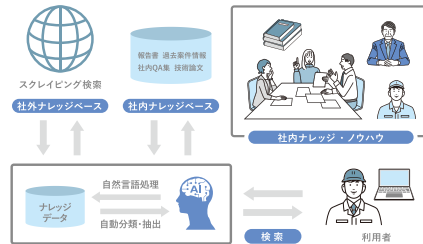
蓄積されたノウハウを活かして、
施工リスクを事前に抽出

「体で覚える」では社員の育成に多大な時間を要する
過去に発生したことが現在に活かされていない
失敗して学ばせる時間も場所も余力もない
データベースを構築しても適切な情報が検索できない



AIナレッジベースとは？

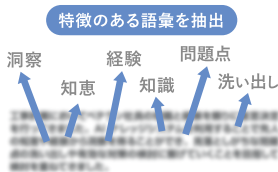
社内に蓄積されている多様な文書を「ナレッジ化」、
「資産化」、「知財化」し、AIを活用して過去の経験を
活かすナレッジ活用システムです。



AIナレッジベースの特徴

文書内の特徴を抽出

文書に含まれる形式知らずのコツ、
勘所、ノウハウにつながる特徴ある
語彙を抽出。



認知バイアスを回避

思い込みによる間違いを回避する
ため、AI自然言語処理によりヌケモレ
をチェック。



従来の検索との差異

語句を入力し検索する形式だけで
なく、項目を選択すると関連する
事例が抽出。

	従来の検索エンジン	AIナレッジベース
利用目的	ドキュメント内の文字列の検索 特定のキーワードで検索	過去の経験や事例の抽出 （課題の抽出と その解決策の抽出）
利用対象	検索対象	経験者 （過去の経験や事例の抽出）
検索方法	キーワードによる検索	自然言語による検索 （自然言語による検索）
検索対象	ドキュメント内の文字列	過去の経験や事例 （過去の経験や事例の抽出）
利用対象	一般ユーザー	経験者、作業担当者